

水滴痕低減シリーズ **滑水**

最大効果
約12か月

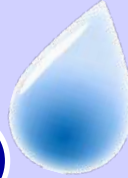
電着方式 業界初 半導体の防錆処理と同じ方式

- ・水滴痕が極めて付きにくい 付いても拭けばすぐ取れる
- ・豊かな滑水性で洗車後などボディに水滴が残りやすい 汚れにくい
- ・ボディガラスコート施工車のメンテナンス(洗車)に最適

シャワープルーフ

Shower Proof Kassui

滑水

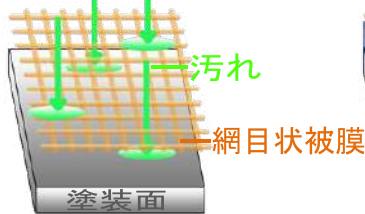


● シャワープルーフ (滑水)

容量： 5kg (4ヶ/1ケース) 商品コード#06557
容量： 1kg (10ヶ/1ケース) 商品コード#06556
容量： 500ml (10ヶ/1ケース) 商品コード #06558

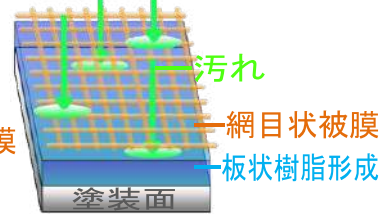
他店との差別化に最適です

従来のガラス系コーティングの場合



コーティング被膜は網目状に形成され、汚れの一部が間を通り抜け塗装面を直接汚す。

シャワープルーフ滑水の場合



網目状被膜と板状樹脂形成の二重構造により網目を通り抜けた汚れを完全にシャットアウトします。

このような車両に最適です

夏場に水滴痕を避けるために中性洗剤等のみでメンテナンスされていた車両に。

新車時に撥水ボディガラスコートを施工されていた車両へ水滴痕防止のメンテナンスに。

ここがポイント

従来のシリコンポリマーのコーティングでは、雨水、水道水等に含まれる水に溶けない成分(金属微粒子、カルシウム、カルキ等)がコーティング被膜と結合し、水分の蒸発後は除去しにくい水滴痕として白い斑点状に残ってしまいました。また、親水系のコーティングの場合は、洗車後などに水の膜が残りやすいため、拭き取りが大変になります。

当シリーズは水になじみやすい性質を合わせ持った、今までにない滑水性コーティングです。水に溶けない成分とも結合しにくく、水洗いの際にそれらの成分の間に水が潜り込む事で、簡単に除去できるようになりました。

万一、水滴痕が残ってしまった場合も簡単除去



水で濡らし固く絞ったマイクロセーム等で拭けば簡単に除去できます。

滑水性で水をはねのけます

弊社従来品(撥水コート剤)

シャワープルーフ(水滴痕低減シリーズ)

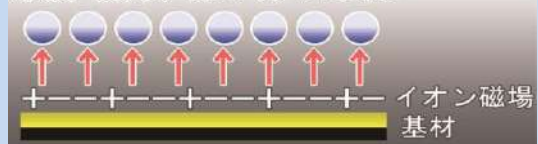
水滴の残存量は、
撥水コートの約半分(※当社比)

※ 水平に置いた当社規定の塗装パネルに水道水を規定の回数スプレーし、30度傾けた際にパネル上に残った水滴の重さの比較試験結果より。撥水コートが4g残ったことに対し、本製品(シャワープルーフ)では2gとなった。

【微弱電荷処理により優れた防汚性】

自動車ボディにプラス&マイナスイオンに分離し電位差を持たせた滑水源の成分群(滑らせる樹脂・撥水成分)が付着して、図のような電磁場を作ります。仕上がった塗面は光沢・スベリ・防汚性を長期に持続します。

水滴(雨水)はマイナスイオン



商品説明

ホームページ内で公開中
<https://www.hone-outline.co.jp/>



作業説明

YouTube チャンネル
動画公開中



株式会社 HONE

愛知県春日井市八田町3-16-6

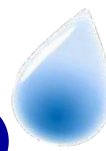
TEL: 0566-85-3288

07003-240521

シャワーブルーフ

Shower Proof Kassui

滑水



施工動画
MnU8cJ4o

《作業方法》

この作業は、より良い効果を出すために直射日光を避け、屋根の下などの日陰や夕方に行ってください。

用意 するもの



シャワーブルーフ滑水



フォームガン



レモンオイルクリーナー



HV-mainte滑水



水で濡らし固く絞った
マイクロファイバークロス 1枚



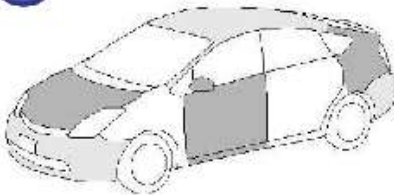
乾いたマイクロセーム 1枚

1



①ホコリなどの軽い汚れだけの場合はマイクロセームまたはセームクロス等を使用した水洗いがお勧めです。

2



① 以下の作業は、部分ごと(ボンネット、フェンダー、ドアパネル、ルーフといった感じ)に行います。ボンネット、ルーフは半分ずつくらいを目安に噴霧します。

② 夏場等、温度が高くなり液の乾燥が速い場合は、車体を十分に冷やして日陰でワンパネル(ドア・フェンダー等)を目安に噴霧作業してください。

3



① 一旦ボディ全体を水で十分に濡らし、フォームガンを10倍希釈に設定し、シャワーブルーフ(滑水)をまんべんなく噴霧してください。

② ①で作業したパネルを速やかに水をかけて流してください。

③ 次のパネルを①～②を繰り返してください。



④ 全体に対し作業が終了したら、大まかな水分はマイクロファイバークロスで拭き取り、そのマイクロファイバークロスを絞り、HV-mainte滑水をワンプッシュプレーし、残りの水分を拭き取ります。(3パネルくらい)その後、マイクロセームで乾拭きして仕上げてください。

※ 完成後、ムラやシミが発生した場合は、水で湿らせて固く絞ったマイクロセームにHV-mainte滑水を少量含ませてこすってください。

※ 本液をたくさん塗布されますとムラの原因になります。出来るだけ薄く延ばしてください。(薄く延ばしても十分効果が出ます)



①マイクロセームを2枚用意します。



②片方は一旦水で濡らし固く絞ってボディを拭きます。



③同一部分をもう片方の乾いたマイクロセームで拭き上げると一層深みが増します。指紋等の汚れ、ホコリ等も取れキレイに仕上がります。



- 必ず、専用マイクロセーム又は専用マイクロファイバークロスをご使用ください。(乾いた通常のタオルでボディを拭きますと傷が入ります。)
- 汚れが多い場合は、最初にレモンオイルクリーナーやビッグレモンで洗車してください。
- ピッチ・タールが付着しましたら、専用クリーナー(別売)をご使用ください。
- マイクロセーム・マイクロファイバークロス等が汚れていると作業が進みにくいので、中性洗剤(台所洗剤等)で揉み洗いして下さい。
- ボディが熱い状態での作業(炎天下等)は絶対に避けてください。
- 作業を始める前にボディを十分に冷やしてから、日陰で作業してください。
- 本液の作業は、必ず1パネルごとに水で流してください。
- 本液を従来のシャンプー洗車のように“水滴を放置”しないでください。シミの原因になります。